

タイトル…マーフィーの法則　くいつか実際におこることく

■フェーズ1

家にいる学生。課題のレポートが机に置かれている。となりには携帯ゲーム機。
学生「今、やりたいことは二つ。オンラインゲームと課題だ」
学生「課題は明日までにやればいいけど、オンラインゲームは今しかできない」
学生「なら、ゲームやろう！」

次の日。

真っ白なレポート用紙。夜明けを迎えている。

学生「なんて……なんて失敗をしちまったんだ……」

■フェーズ2

学生「昨日のレポートに猶予をもらったぞ！　これなら課題を仕上げられる！」

携帯の着信音。

友達『よう、今からレイドイベント始まるぞ』

学生「やべっ、今からだったっけ」

学生「課題はあるけど……まだなんとかなるし……」

携帯電話のゲームアプリを起動し、遊び始める学生。

やがてくる夜明け。

学生「ははっ……またレポート真っ白かよ……」

■フェーズ3

学生「単位だけは落とさないぞ！　今度こそ、がっちりレポート仕上げてやる！」

携帯の着信音。通話に出る。

彼女『やつほー。今、暇？』

学生（うつ。どうしよう、彼女と話はしたいけど、単位は落とせない……）

学生「か、課題やりながらでもいいかな？」

彼女『えー、いやだ！』

学生「じゃ、じゃあ手短に……」

拘束される学生。やがて寝落ちしてしまう。

朝が来て、通話が切れていることに気が付く。課題は終わっていない。

学生「やつちまった……」

■フェーズ4

学生「今からでも間に合う。今日は幸いにも日曜日だ、ささっと終わらせちゃおう」

玄関のチャイムが鳴る。

学生「ったく、なんだよこんなときに。はい」

母「久しぶり〜！　あんたが元気にしているかどうか、見に来ちゃった★」

学生「はあ？」

母「あらっ、何よこの部屋！　きつたないわね〜。今すぐ掃除よ、ほら、ゴミ袋出してきなさい」

学生「ええ〜？」

■フェーズ5

学生「やつと課題が仕上がった！　これでもう何も気にせず遊べるぞ〜」

学校でレポートを提出する。

講師「きみ、だいぶ時間かけていたね。どうしたんだ」

学生（やべっ）

学生「あ、あの、えーと、えーと、研究！　研究に時間がかかって！」

講師「なにい？　ふむ……」

その場で読み進める講師。

講師「ふむ……ふむ……素晴らしい！　優秀なレポートじゃないか！」

学生「へ？」

講師「君、これをぜひ論文にしたまえ！　いやあ、良い生徒がいたもんだ。はっはっは」

■オチ

ナレーター「何事であれ失敗する可能性のあるものは、いずれ失敗する」

ナレーター「同時に、成功する可能性のあるものは、いつか成功する」